

2023Japan National Team Report ”選手”



報告者	所属クラブ ; B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ 学年 中 氏名 藤田 翔伊		
大会名	2023 Optimist World Championship		
開催地	スペイン (コスタブラバ)		
大会期間	2023/6/15~6/25		
セール No	3407	最終順位	156 位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は暑くて、乾燥していたから、水分補給をたくさんした。水温も、そんなに冷たくなかった。ウエアは、ずっと水着だった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	波は乗れるくらいだったが、砂浜出艇だったから、出艇が大変だった。 風は、1回の振れ幅が、大きかった。
セッティングで注意したこと	風が弱かったから、パワーのあるセッティングにしていた。 海上でも、かなり風が変わったので、その都度セッティングを直していた。
セーリングで注意したこと	スタートを前に出れるよう、一線で遅れないようにした。 風がどっちからきているか考え、次どっちに振れるか考えた。 上手い子の乗り方を、よく見た。
海上で練習したこと	練習レースをした。スタートが初め全然出れず、どうしたらいいのか考えた。

実際のスベリはどうでしたか？	タックの数が多くて、落ちてしまった。
スタートはどうでしたか？	初めは、スタート後すぐにうもれていたが、後半はタイミングを合わせられるようになった。でも、スタート後の加速が足りず、うまく前に出れなかった。
コース戦略はどうでしたか？	スタートが悪かったから、受け身になってしまった。
自分より上位の選手との違いは？	スタート後の加速とタック
国内の練習で役立ったこと	弱い風での、メイントリム
国内の練習で足りなかったこと	スタート
印象に残った外国選手は？	UKR311 GRE Iason Panagopoulos
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	スタートで、大分前に出られるようになり、良くなった。
今後の課題と目標は？	体を前に出して、バウを落として加速するタック
JODA への要望	特にありません
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会